

## 地域生活支援拠点の整備における「相談機能の充実」について

### 1 地域生活支援拠点の整備

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制を整備するものであり、地域生活支援拠点の具体的な機能として、次の5つの機能が求められる。

- （１）相談機能
- （２）緊急時の受け入れ・対応機能
- （３）体験の機会・場の提供の機能
- （４）専門的人材の確保・養成の機能
- （５）地域の体制づくりの機能

これらの機能を整備するための手法として、国は、次の2つを示している。

- （１）多機能拠点整備型：5つの機能を一つの事業所等に集約するもの
- （２）面的整備型：5つの機能を複数の事業所等の連携により必要な機能を確保するもの

### 2 板橋区における整備手法の方向性

板橋区では、面的整備を軸に、令和2年度板橋区自立支援協議会にて協議が進められ、令和3年2月に策定した板橋区障がい者計画2023の重点項目の一つとして位置づけ、現在も継続して、各機能のさらなる充実に取り組んでいる。（P3）

なお、就労支援部会では、次の題材について検討する。

### 3 相談機能の充実について

相談機能の充実について、板橋区では、めざすべき姿として以下の内容を掲げている。

#### ○ 緊急時相談に対応できる環境の整備

障がいの特性に起因して生じた緊急の事態などに必要なサービスのコーディネートや相談、その他の必要な支援を行う機能について、基幹相談支援センターを中心とした整備に向け、検討・対応を図っていくこと。

相談支援部会では、上記に記しためざすべき姿の実現に向け、「緊急時の支援が見込めない障がい者」に対する相談支援などについて検討を重ねていくため、次の2点について、各委員より意見を賜りたい。

### 【質問事項①】

今後、地域生活支援拠点が整備された場合、「緊急の事態」とはどのような場合をいうのか、現時点では定義がありません。今後、緊急時を想定し、施策を検討していく上での参考とするため、下記の回答例を参考に各委員より意見ををお願いします。

### 【回答例】

- ① 障がい者の主たる介護者（家族）が負傷、疾病、失踪又は死亡などの状態となった場合に、他の介護者（家族）を確保することができなければ生命に関わる場合
- ② 障がい者が養護者からの生命の危険に係る虐待により、自宅にいたることができなくなった場合

### 【質問事項②】

「緊急時の支援が見込めない障がい者」を支援していくため、事前の準備として対象者を把握していくことが必要となります。対象者を把握し、迅速な支援につなげる手段について、下記の回答例を参考に各委員より意見ををお願いします。

また、既に緊急時の支援を想定し、各事業所等において独自の取り組みなどがありましたら、そちらについても教えてください。

### 【回答例】

- ①対象者を把握し、迅速な支援につなげる手段

「緊急時に支援が見込めない障がい者」を対象に、サービス等利用計画に、緊急時を想定した支援プランを盛り込む。

- ②各事業所等において独自の取り組み

支援が必要な家庭について独自の支援基準を設けている

# 板橋区の目指す地域生活支援拠点（イメージ）

